

(施策 7) 中長期的な視点を重視した介護サービス基盤の整備

介護サービス基盤整備の目標の算出方法について

1 第 10 期計画（令和 9 年度～令和 11 年度）における介護サービス基盤整備の目標の算出

(1) 特別養護老人ホーム

① 「実入所申込者数」の算出（令和 8 年度入所希望者調査より）

入所申込者数 1,143人	
実入所申込者数 1,025人 ※ 1,143人のうち、入所要件（要介護 3～5又は特例入所要件該当の要介護 1・2）を満たす方	特例入所要件非該当の 要介護 1・2の方 118人

② 「早期入所希望者数」の推計（令和 8 年度特別養護老人ホーム入所希望者向け調査より）

特養のみを希望 546人	
早期入所希望者数 （早期の入所を希望） 216人	将来的に 入所を希望 330人
	特養以外も希望 （他施設でも可） 479人

③ 「入所必要者数（令和 8 年度）」の推計（②+現入所者数）

早期入所希望者数 216人	現入所者数 5,349人
入所必要者数（令和 8 年度） 5,565人	

④ 「入所必要者数（令和 11 年度）」の推計（③+高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和 8 年度） 5,565人	151人
入所必要者数（令和 11 年度） 5,716人	

⑤ 「総定員数（令和 11 年度）」の算出（現定員数）

現定員数（令和 8 年度） 5,655人	140人
総定員数（令和 11 年度） 5,795人	

⑥ 「実定員数（令和 11 年度）」の推計（⑤×稼働率）

総定員数（令和 11 年度） 5,795人（⑤）	
実定員数（令和 11 年度） 5,552人（⑤×稼働率 95.8%）	

⑦ 「想定不足数（令和 11 年度）」の算出（④－⑥）

入所必要者数（令和 11 年度） 5,716人（④）	
実定員数（令和 11 年度） 5,552人（⑥） 不足数 （稼働率割り戻し前） 164人分	

※不足数（稼働率割り戻し前）164人分に稼働率（95.8%）を割り戻した数≒171人分を「想定不足数」とした上で、現行計画における新規整備事業の公募への応募状況や既存有料老人ホーム等から特定施設への移行の促進を図る国の方針等を踏まえ、特別養護老人ホームについては「150人分」（概ね1施設分）を整備目標とした上で、「21人分」については、特定施設入居者生活介護の想定不足数に上乗せする。

(2) 介護老人保健施設

①「入所申込者数」の算出（令和8年度入所希望者調査より）

入所申込者数 90人

②「入所必要者数（令和8年度）」の推計（①+現入所者数）

入所申込者数 90人	現入所者数 3,136人
入所必要者数（令和8年度） 3,226人	

高齢者人口増による増分

③「入所必要者数（令和11年度）」の推計（②+高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和8年度） 3,226人	75人
入所必要者数（令和11年度） 3,301人	

④「総定員数（令和11年度）」の算出（現定員数）

現定員数（令和8年度） 3,526人
総定員数（令和11年度） 3,526人

⑤「実定員数（令和11年度）」の推計（④×稼働率）

総定員数（令和11年度） 3,526人（④）
実定員数（令和11年度） 3,339人（④×稼働率94.7%）

⑥「想定不足数（令和11年度）」の算出（③－⑤）

入所必要者数（令和11年度） 3,301人（③）
実定員数（令和11年度） 3,339人（⑤）

※不足数
（稼働率割り戻し前）
▲38人

※不足数（稼働率割り戻し前）▲38人分に稼働率（94.7%）を割り戻した数÷▲40人分
40人分の供給余剰が見込まれるため、第10期においては整備を行わない。

【参考】介護医療院に関する事業者調査の結果（1施設あたりの平均人数）

	特別養護老人ホーム （回答数65施設）	介護老人保健施設 （回答数25施設）	認知症高齢者 グループホーム （回答数58施設）	有料老人ホーム・ サービス付き高齢者 向け住宅 （回答数53施設）
① 令和7年度中に施設で受け入れ調整が 困難だった人数	5.05人	6.64人	1.26人	2.65人
② ①のうち医療ニーズの高い要介護者数	2.98人	4.48人	0.42人	1.4人
③ ②のうち、介護医療院への入所が妥当 と思われる要介護者数	1.81人	1.48人	0.2人	0.38人

(3) 特定施設入居者生活介護

(令和8年度特別養護老人ホーム入所希望者向け調査より)

①特別養護老人ホームの入所希望者のうち有料老人ホーム等の他施設に入所しても良いと考えている人数

144人

②「現状の生活場所（自宅など）」が良いと考えている人数

※可能な限り現状の生活場所を望んでいるが、特養申込をしていることから、状況に応じ施設入所を検討。

37人

③特別養護老人ホームの特例入所要件非該当の要介護1・2の方の人数

118人

特別養護老人ホームの入所希望者のうち「他施設でも良い」：479人の内訳

早く入所したいが他施設も可 168人

老健：76人、GH：30人、

①有料等の他施設：50人、

②現状の生活場所：12人

将来の入居意向 236人

老健：126人、GH：27人、

①有料等の他施設：62人、

②現状の生活場所：21人

希望時期不明 75人

老健：29人、GH：10人、

①有料等の他施設：32人、

②現状の生活場所：4人

○特定施設入居者生活介護の整備目標数

高齢者人口増に伴う増分
6人

①144人

②37人

③118人

=305人

※令和11年度想定不足数305人分の整備が必要であるが、特別養護老人ホームの想定不足数の21人分を上乗せし、326人分を330人分を整備目標とする。

【参考】有料老人ホームの施設数・定員数の推移及び推計（各年4月1日現在）

		R5	R6	R7	R8	R9	R12
住宅型有料老人ホーム	施設数	64	71	81	84	100	118
	定員数	3,001	3,212	3,467	3,604	4,304	5,104
介護付有料老人ホーム	施設数	41	43	45	47	49	56
	定員数	2,491	2,573	2,757	2,853	2,985	3,295
サービス付き高齢者向け住宅	施設数	58	59	60	60	61	62
	定員数	2,074	2,133	2,191	2,191	2,263	2,328
合計	施設数（※）	155	165	177	181	200	226
	定員数	7,321	7,733	8,153	8,332	9,236	10,411

※介護付有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の施設数・定員数は、特定施設の指定を受けたサ高住を含む。

※住宅型有料老人ホームと介護付有料老人ホームを同一施設で運営している場合があるため、施設数合計は一致しない。

(4) 認知症対応型共同生活介護

①「入所申込者数」の推計（令和8年度GH向け事業者調査より）

入所希望者 115人

②「入所必要者数（令和8年度）」の推計（①＋現入所者数）

入所希望者 115人	現入所者数 2,200人
入所必要者数（令和8年度） 2,315人	

③「入所必要者数（令和11年度）」の推計（②＋高齢者人口増に伴う増分）

入所必要者数（令和8年度） 2,315人	44人
入所必要者数（令和11年度） 2,359人	

高齢者人口増による増分

④「総定員数（令和11年度）」の算出（現定員数＋第9期整備予定分）

現定員数 2,304人	72人
総定員数（令和11年度） 2,376人	

第9期残整備予定分

⑤「実定員数（令和11年度）」の推計（④×稼働率）

総定員数（令和11年度） 2,376人（④）
実定員数（令和11年度） 2,300人（④×稼働率96.8%）

⑥「想定不足数（令和11年度）」の算出（③－⑤）

入所必要者数（令和11年度） 2,359人（③）
実定員数（令和11年度） 2,300人（⑤）

※不足数
（稼働率割り戻し前）
59人

※不足数（稼働率割り戻し前）59人分に稼働率（96.8%）を割り戻した数≒61人分
≒63人分を整備量の目標とする。

（※1ユニット9床単位想定で切り上げ）

(5) 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護

未整備となっている日常生活圏域の状況や過去の整備実績等を踏まえ、12事業所を整備量の目標とする。

（令和11年度の整備状況 85事業所）